

市民と考えるこれからの施設のあり方

2018年3月25日（日）

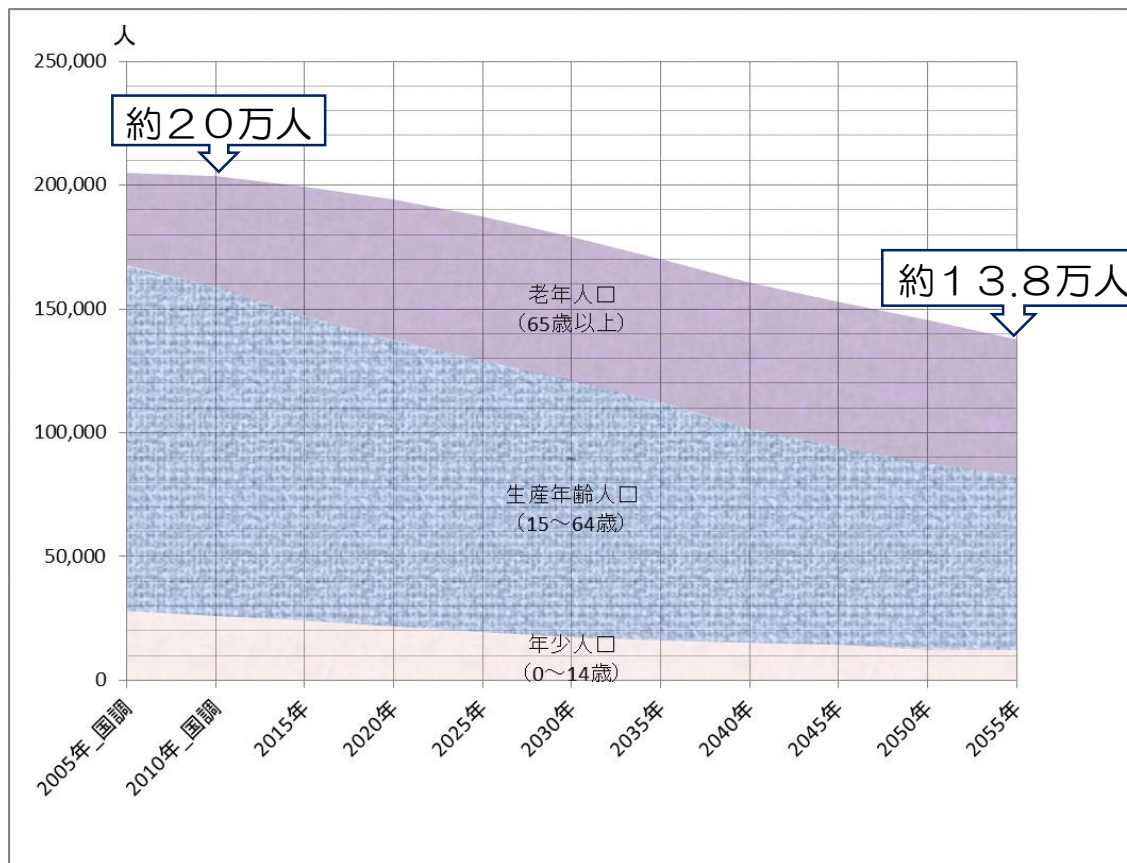
みなさん、こんにちは

本日は、みなさんと一緒に熊谷市の
公共施設の将来像について考えてみ
たいと思います。

1. 熊谷市の施設ってどうなってるの？

熊谷市の人口は？

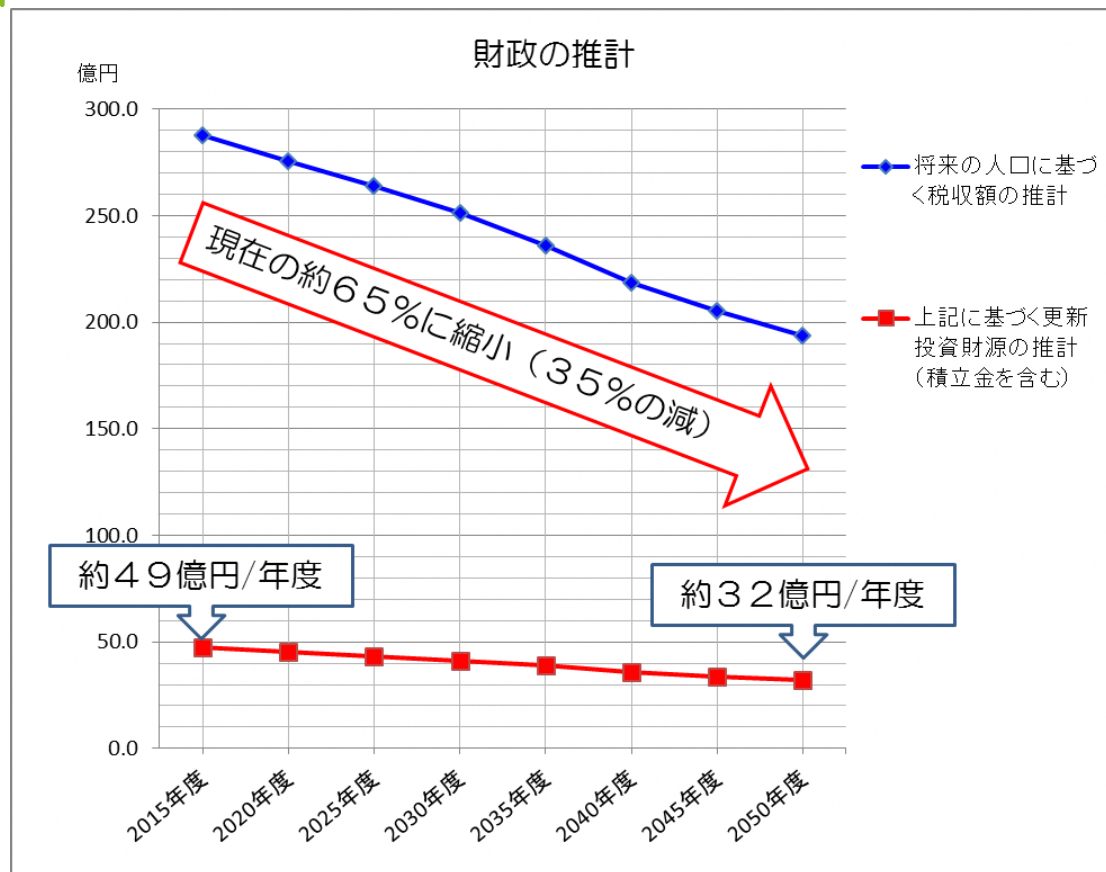
熊谷市の人口推計



1. 現在の約20万人の人口は、40年後には約13.8万人まで減少する見込みです。
2. 特に生産年齢人口（15~64歳）と年少人口（0~14歳）の人口減少が顕著です。

熊谷市の財政状況は？

熊谷市の財政推計



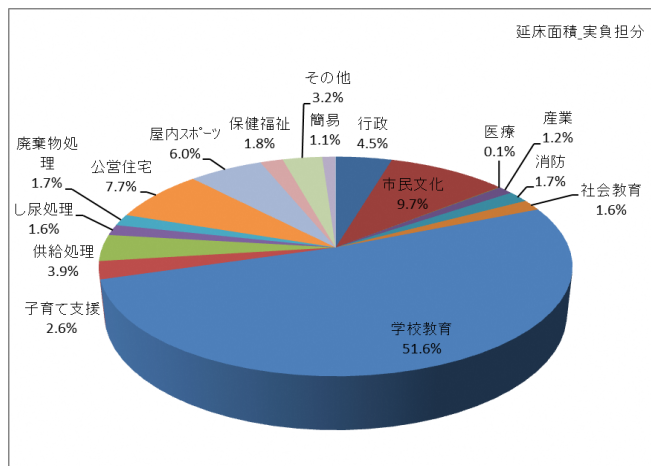
1. 人口減少に連動して、税収額は現在の約65%に縮小する見込みです。
2. 施設の更新投資等にかかる財源も年間当たり約49億円から約32億円に約35%縮小する見込みです。

熊谷市にはどのくらいの公共施設があるの？

建物の状況

施設数は555、延床面積では約62万㎡

施設系統	延床面積 (㎡)	施設系統	延床面積 (㎡)
行政	28,343	し尿処理	9,851
市民文化	60,306	廃棄物処理	10,741
医療	343	公営住宅	48,131
産業	7,574	屋内スポーツ	37,297
消防	10,549	保健福祉	11,462
社会教育	10,134	その他	19,963
学校教育	322,257	簡易	6,730
子育て支援	16,304	合計	624,384
供給処理	24,400		



インフラの状況

道路延長約2,300kmをはじめ膨大な量

施設系統	存在量	備考
道路	10,795,332㎡	道路面積（道路部面積）。 延長（実延長）では、 2,295,003m 一級路線：110,530m 二級路線：128,725m その他：2,055,748m
橋梁	41,527㎡	橋梁面積。 延長（実延長）では、 6,759m 本数では、 橋長15m以上の55本を 含む1,068本
上水道	1,149,973m	上水道管の総延長
下水道	490,856m	下水道管渠の総延長
農業集落排水	118,173m	農業集落排水管渠の総延長。野原・土塩地区農業集落排水施設管渠のうち、滑川町の負担分を除く。
河川	7,921m	準用河川の管理延長

もう少し詳しく施設の状況を見てみましょう

熊谷市の公共施設（建物）の数

施設系統	具体例	施設数
行政	庁舎、事務所、出張所、文書庫など	23
市民文化	コミュニティセンター、ホール、公民館など	89
医療	診療所	1
産業	道の駅など	8
消防	消防署、消防分団車庫	38
社会教育	図書館、博物館的施設など	10
学校教育	小中学校、給食センター	48
子育て支援	保育所、児童館、幼稚園など	62
供給処理	浄水場、ポンプ場（下水道）など	46
し尿処理		3
廃棄物処理	ごみ焼却施設など	4
公営住宅	市営住宅	6
公園・緑地	公園、河川敷の緑地	155
屋外スポーツ	総合グラウンド	2
屋内スポーツ	体育館など	10
保健福祉	老人福祉センターなど	8
その他	葬斎施設、立体駐車場など	25
簡易	平置き of 駐車場、駐輪場	7
更新対象外	仮設住宅、廃止した施設など	10
合計		555

熊谷市には、このような公共施設があります

本庁舎



商工会館



市民ホール（中央公民館）



熊谷西小学校体育館

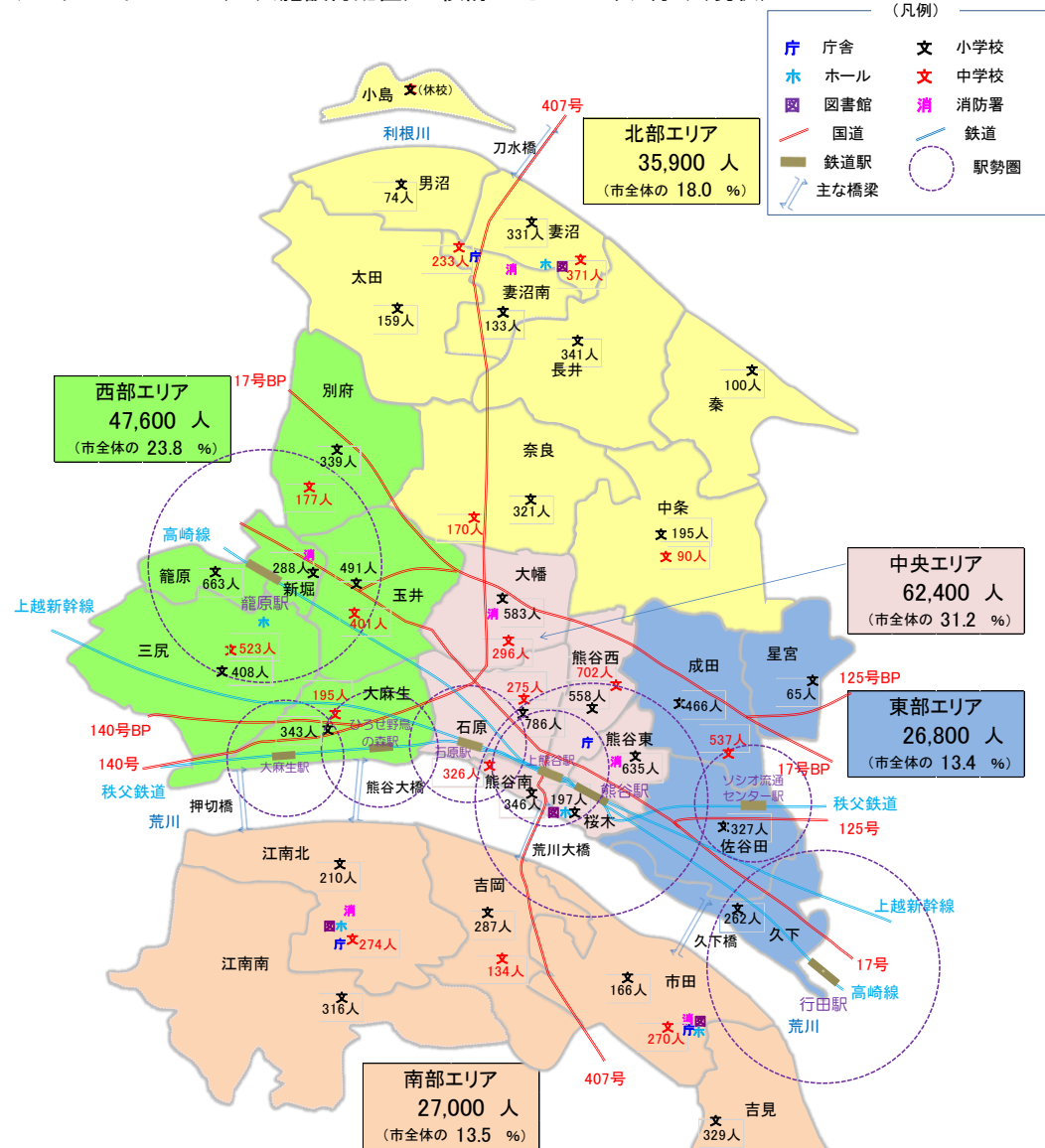


施設の配置状況は？

エリアと主要施設の配置

5つのエリア（北部、西部、中央、東部、南部）に区分した場合、各エリアの区分状況、人口、主要な施設の配置状況は右表のとおりとなります。

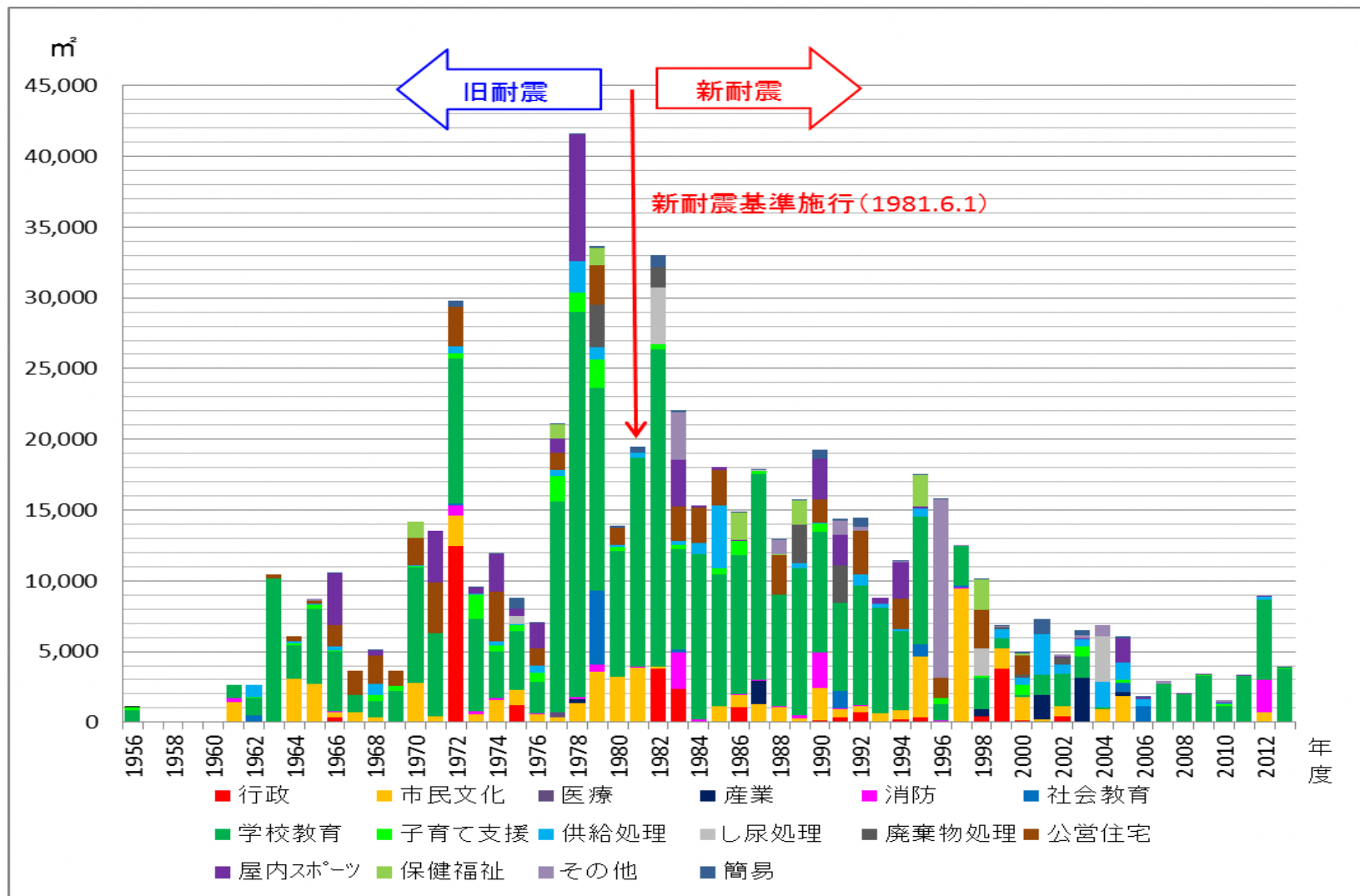
アセットマネジメント(公共施設再配置)の検討のためのエリア分け(現状)



- *1 各エリアの人口は、2017(平成29)年1月1日現在の住民基本台帳人口です(概算)。
- *2 薄灰色の区域界とこれに付された名称は、各小中学校の校区を示しています。
各小中学校(「文」の記号)に付された人数は、2017年5月1日現在の児童生徒の総数です。
- *3 「駅勢圏(えきせいけん)」とは、鉄道駅を中心として旅客等の需要の発生が見込まれる範囲をいいます。
各駅勢圏は、熊谷・龍原・行田の3駅は半径2km、その他の駅には半径1kmで想定しています。

古い施設が多いようだけど・・・

熊谷市が保有する建物の建築年度別の延床面積



施設の老朽化の状況

老朽化している施設の事例



使いづらい施設や時代にそぐわない施設

使いづらい施設の事例

✓ エレベーター等の昇降機がない施設

大里庁舎、中央公民館、商工会館等の施設については、2階建て以上の建物であるが、エレベーター等の昇降機がなく、このような施設は使いづらい施設として挙げられる。

✓ 専用駐車場がない施設

障害福祉会館や大原公民館等の施設については、公共施設利用者専用の駐車場がなく、このような施設は使いづらい施設として挙げられる。

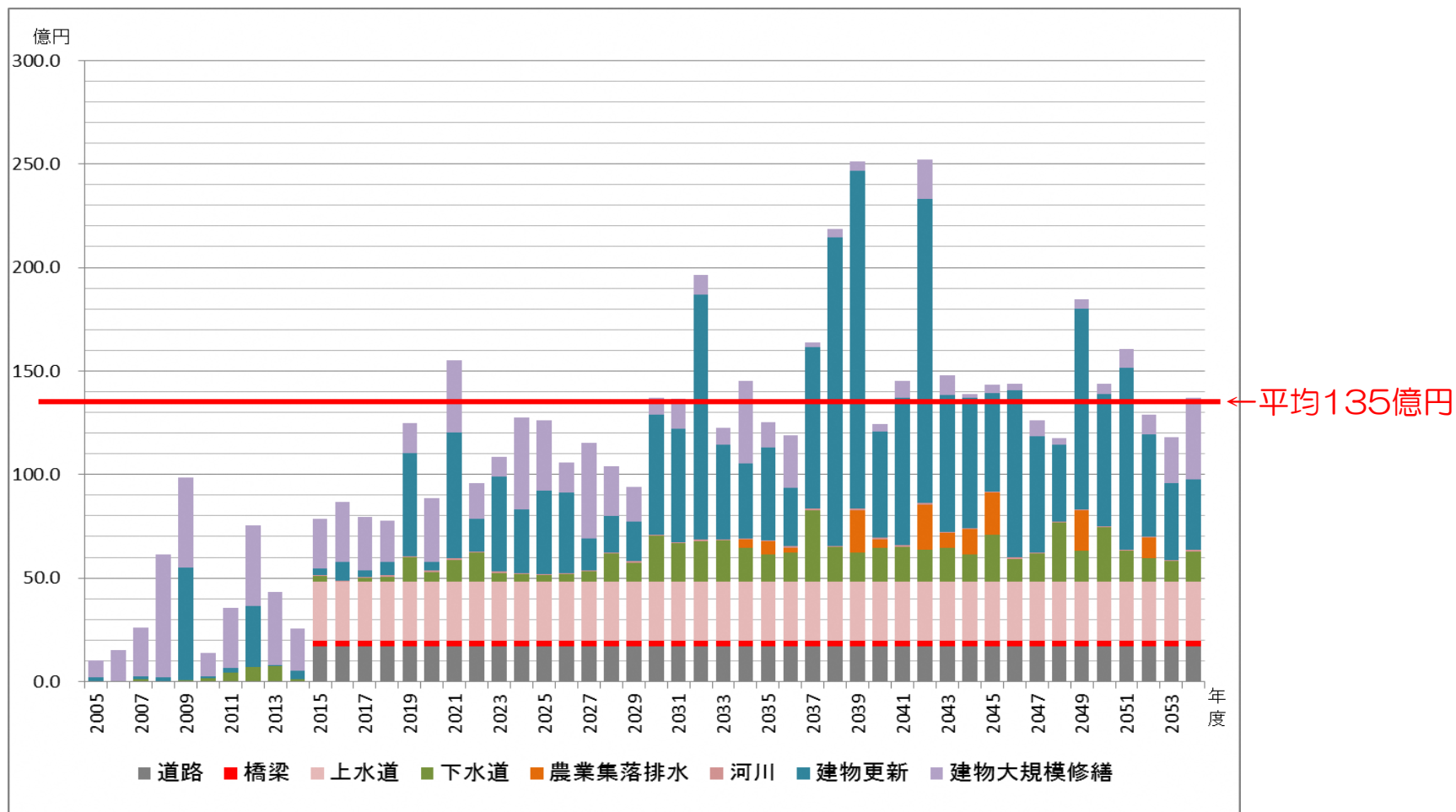
時代にそぐわない施設の事例

✓ トイレが男女共用の施設

市内の公共施設の中には男女共用のトイレ（例えば、1階は男女別のトイレだが2階は男女共用である場合を含む）の施設があり、このような施設は時代にそぐわない施設として挙げられる。

公共施設の更新（建て替え）にいくらかかるの？

公共施設の更新費用推計



2054年度（37年後）まで、平均で毎年度約135億円が必要です

施設を取り巻く課題

- ✓ 古くなった施設や、あまり利用されていない施設があります。
- ✓ 人口減少や人口構成が今後、大きく変わることを考えると、今のまま施設を維持することは効率的とはいえません。
- ✓ 老朽化した施設をすべて建替えるだけのお金は、市にはありません。
- ✓ 新しい技術の活用や施設の複合化を進めることで世代間の交流がうながされるといったメリットも期待できます。
- ✓ みんなの施設について、みんなで将来像を考えましょう。

2. 市民は熊谷市の施設のことをどう 考えているか？

平成26年度に市民アンケートを実施しました

熊谷市では、施設について市民のみなさんがどのように考えているかを把握するために、アンケートを実施しました。

【対象】

18歳以上の市民3,000人（無作為抽出）

【発送件数】

2,963件（抽出後の転出、死亡等を除外して発送したため）

【回答期間】

平成26年7月28日（月）～同年9月1日（月）

【回答者数（回収率）】

986人（33.28%）

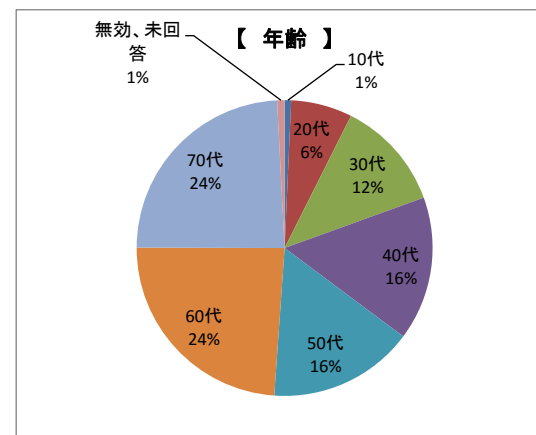
平成26年度の市民アンケートの回答者属性 ～その1～

【性別】

	回答数	割合
男性	470	47.7%
女性	507	51.4%
無効、未回答	9	0.9%
合計	986	

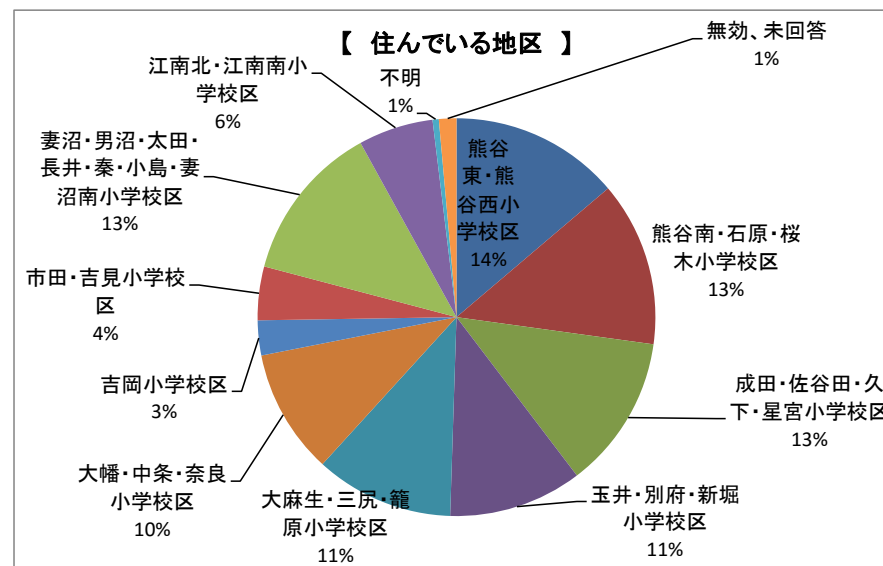
【年齢】

	回答数	割合
10代	7	0.7%
20代	66	6.7%
30代	119	12.1%
40代	155	15.7%
50代	157	15.9%
60代	236	23.9%
70代	238	24.1%
無効、未回答	8	0.8%
合計	986	



【居住地区】

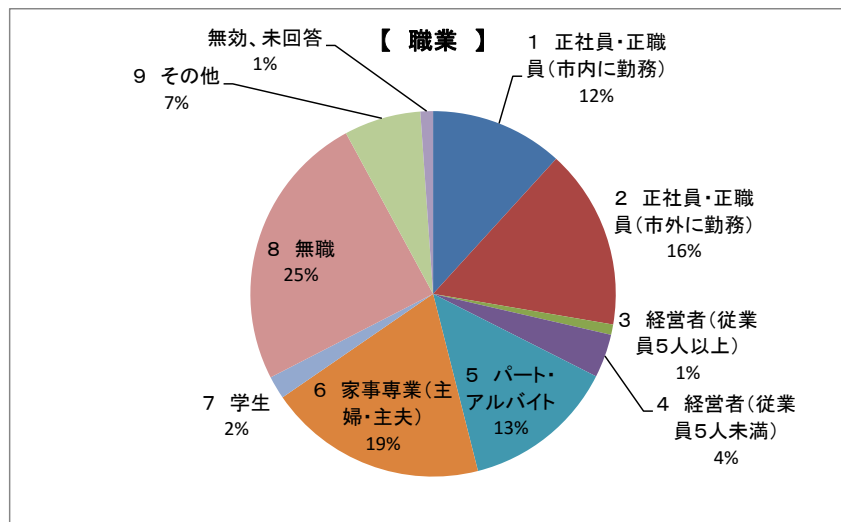
	回答数	割合
熊谷東・熊谷西小学校区	136	13.8%
熊谷南・石原・桜木小学校区	132	13.4%
成田・佐谷田・久下・星宮小学校区	123	12.5%
玉井・別府・新堀小学校区	107	10.9%
大麻生・三尻・籠原小学校区	111	11.3%
大幡・中条・奈良小学校区	100	10.1%
吉岡小学校区	28	2.8%
市田・吉見小学校区	43	4.4%
妻沼・男沼・太田・長井・秦・小島・妻沼南小学校区	127	12.9%
江南北・江南南小学校区	60	6.1%
不明	5	0.5%
無効、未回答	14	1.4%
合計	986	



平成26年度の市民アンケートの回答者属性 ～その2～

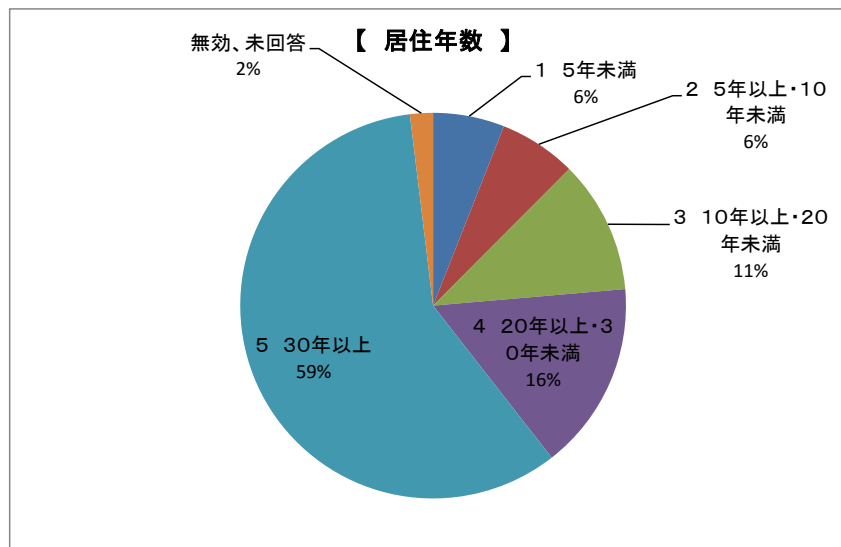
【職業】

	回答数	割合
1 正社員・正職員(市内に勤務)	116	11.8%
2 正社員・正職員(市外に勤務)	157	15.9%
3 経営者(従業員5人以上)	9	0.9%
4 経営者(従業員5人未満)	38	3.9%
5 パート・アルバイト	134	13.6%
6 家事専業(主婦・主夫)	191	19.4%
7 学生	20	2.0%
8 無職	243	24.6%
9 その他	67	6.8%
無効、未回答	11	1.1%
合計	986	



【居住年数】

	回答数	割合
1 5年未満	59	6.0%
2 5年以上・10年未満	64	6.5%
3 10年以上・20年未満	110	11.2%
4 20年以上・30年未満	156	15.8%
5 30年以上	578	58.6%
無効、未回答	19	1.9%
合計	986	



平成26年度の市民アンケートの結果 ～その1～

「公共施設アセットマネジメント」の考え方に対する意見

～「公共施設アセットマネジメント」についての考え方（概要）～

◆ 市には、たくさんの「公共施設」があります

⇒ 東京ドーム12個分の延床面積、道路の合計は直線で札幌～那覇間の距離に匹敵する

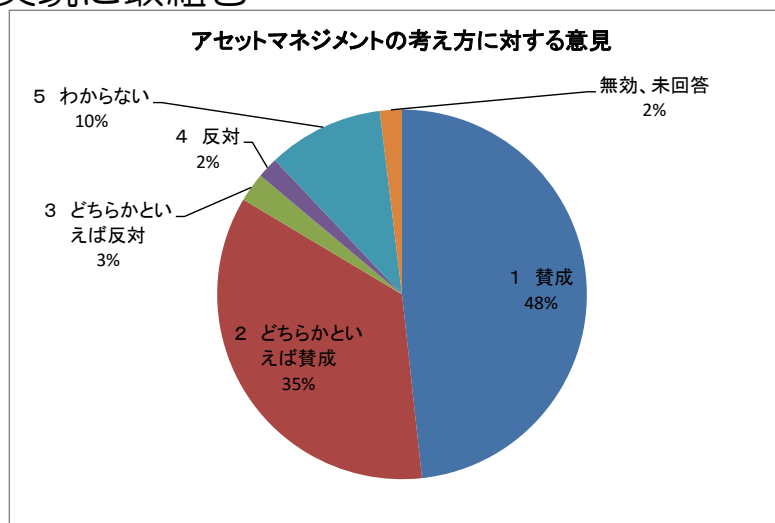
◆ 「公共施設」の維持・更新には、多額の費用が必要です

⇒ 毎年度135億円の更新費用が必要だが、投資に充てられるお金はその半分にも満たない

◆ 知恵と工夫でピンチをチャンスに変える！それが熊谷市の「公共施設アセットマネジメント」の取組です

⇒ 施設の「量」ではなく「質」に着目し、複合施設化に取り組むなど、知恵と工夫によってより活力のある地域、心の通う社会の実現に取り組む

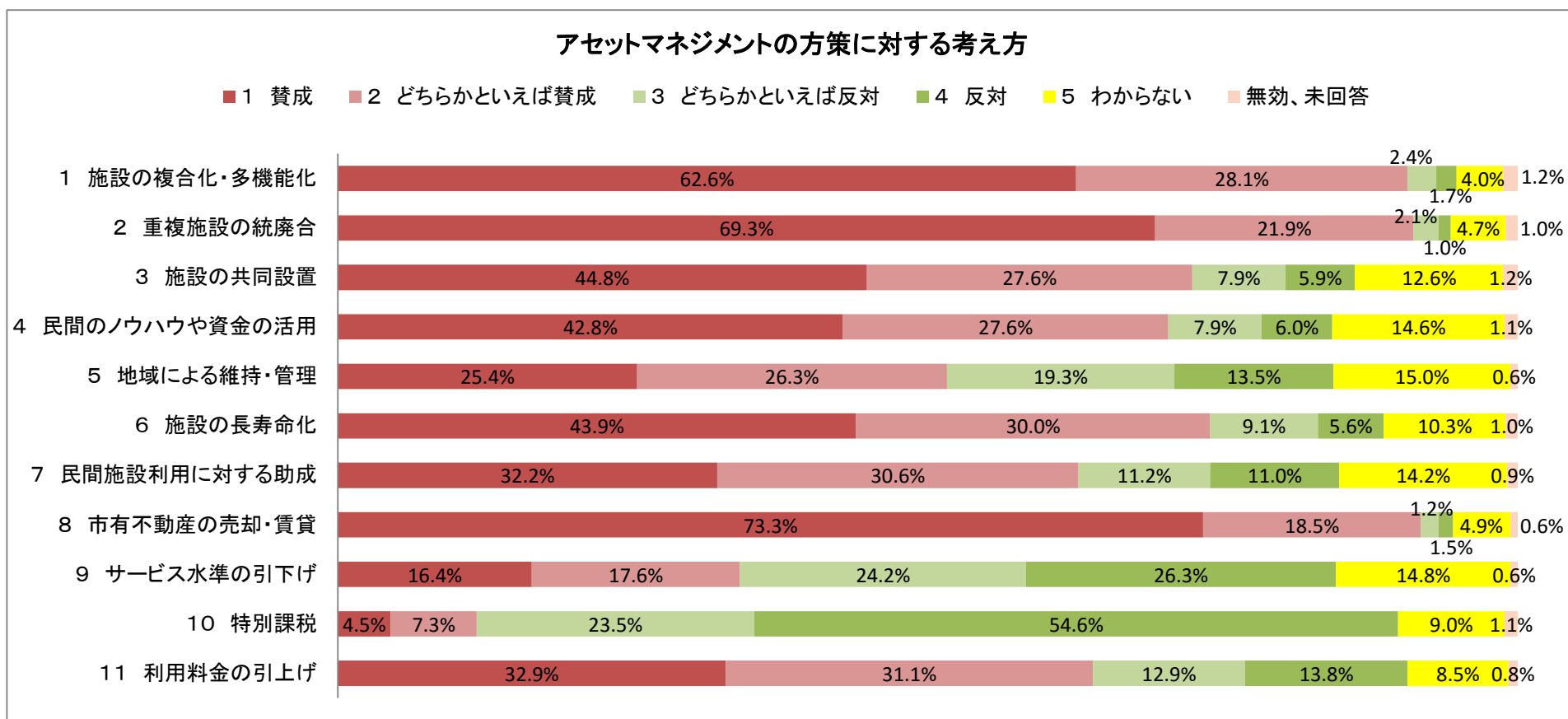
	回答数	割合
1 賛成	476	48.3%
2 どちらかといえば賛成	348	35.3%
3 どちらかといえば反対	25	2.5%
4 反対	18	1.8%
5 わからない	100	10.1%
無効、未回答	19	1.9%
合計	986	



平成26年度の市民アンケートの結果 ～その2～

「公共施設アセットマネジメント」の方策に対する考え方

以下の11項目の方策を「公共施設アセットマネジメント」の検証対象としており、これに対する意見を回答していただきました

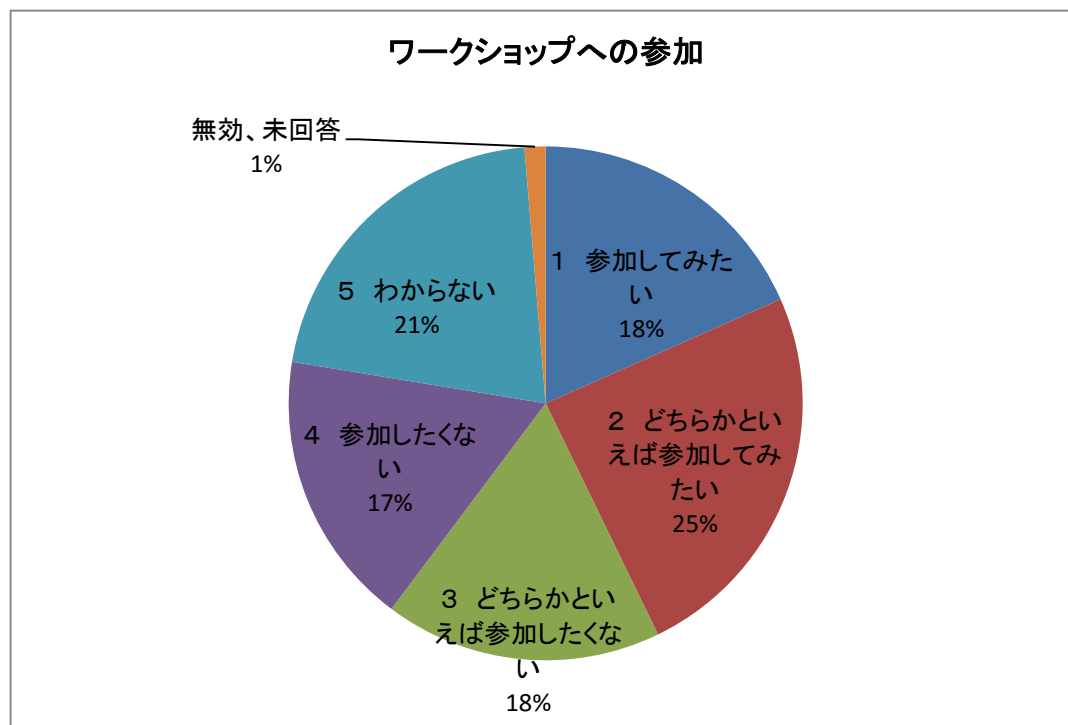


平成26年度の市民アンケートの結果 ～その3～

ワークショップへの参加

身近な施設や普段利用している施設を、他の施設と複合化し、より利便性の高い施設にしていくための話し合い（ワークショップ）を行うことになった場合、参加してみたいと思うかどうかについて回答していただきました

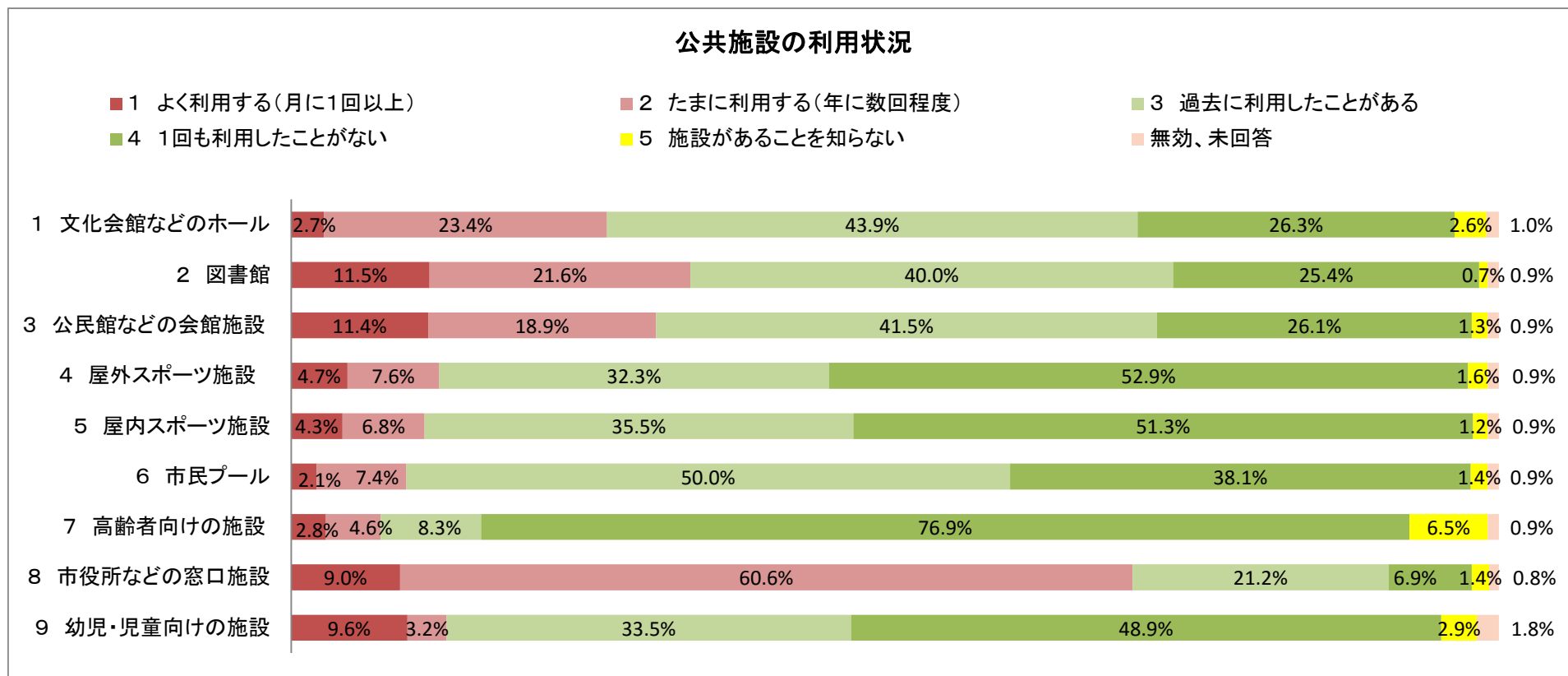
	回答数	割合
1 参加してみたい	181	18.4%
2 どちらかといえば参加してみたい	241	24.4%
3 どちらかといえば参加したくない	172	17.4%
4 参加したくない	171	17.3%
5 わからない	208	21.1%
無効、未回答	13	1.3%
合計	986	



平成26年度の市民アンケートの結果 ～その4～

公共施設の利用状況

熊谷市の公共施設をどれくらい利用しているかについて回答いただきました



平成26年度市民アンケートから読み取れるものは？

- ✓ 「公共施設アセットマネジメント」の考え方に対しては賛成意見が多く、施設の複合化・多機能化や重複施設の統廃合についても肯定的な意見が多く寄せられました
- ✓ 一方で、公共施設のサービス水準の引き下げには否定的な意見が多く、現状以上のサービス水準が求められています
- ✓ 施設の利用料金は、市民全体で負担するよりも施設利用者の負担割合を増やす受益者負担の要望が多く寄せられました
- ✓ 市役所などの窓口施設や図書館等を除くと、公共施設を利用したことがない施設が多いという結果が得られました

平成29年度に市民アンケートを実施しました

熊谷市では、施設について市民のみなさんがどのように考えているかを把握するために、アンケートを実施しました。

【対象】

中学生以上の市民3,300人（無作為抽出）

【回答期間】

平成29年12月13日（水）～平成30年1月12日（金）

【回答者数（回収率）】

780人（23.6%）

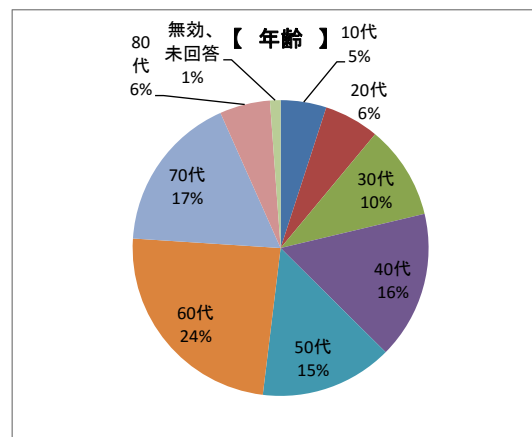
平成29年度の市民アンケートの回答者属性 ～その1～

【性別】

	回答数	割合
男性	335	42.9%
女性	436	55.9%
無効、未回答	9	1.2%
合計	780	

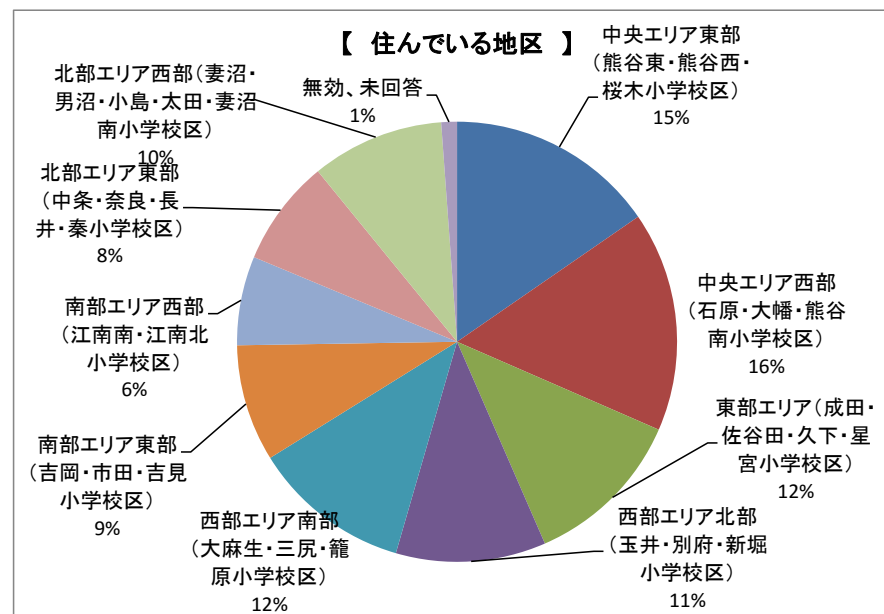
【年齢】

	回答数	割合
10代	39	5.0%
20代	47	6.0%
30代	80	10.3%
40代	126	16.2%
50代	113	14.5%
60代	188	24.1%
70代	135	17.3%
80代	43	5.5%
無効、未回答	9	1.2%
合計	780	



【居住地区】

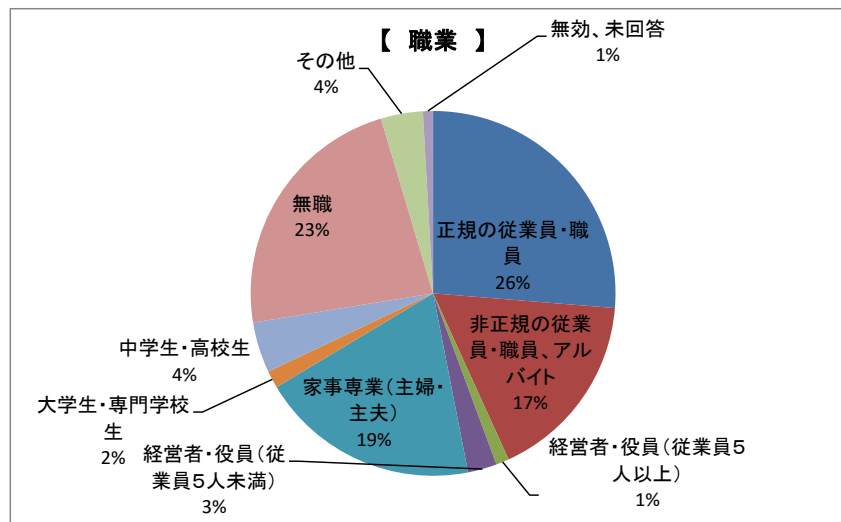
	回答数	割合
中央エリア東部(熊谷東・熊谷西・桜木小学校区)	120	15.4%
中央エリア西部(石原・大幡・熊谷南小学校区)	126	16.2%
東部エリア(成田・佐谷田・久下・星宮小学校区)	93	11.9%
西部エリア北部(玉井・別府・新堀小学校区)	86	11.0%
西部エリア南部(大麻生・三尻・籠原小学校区)	91	11.7%
南部エリア東部(吉岡・市田・吉見小学校区)	67	8.6%
南部エリア西部(江南南・江南北小学校区)	51	6.5%
北部エリア東部(中条・奈良・長井・秦小学校区)	61	7.8%
北部エリア西部(妻沼・男沼・小島・太田・妻沼南小学校区)	76	9.7%
無効、未回答	9	1.2%
合計	780	



平成29年度の市民アンケートの回答者属性 ～その2～

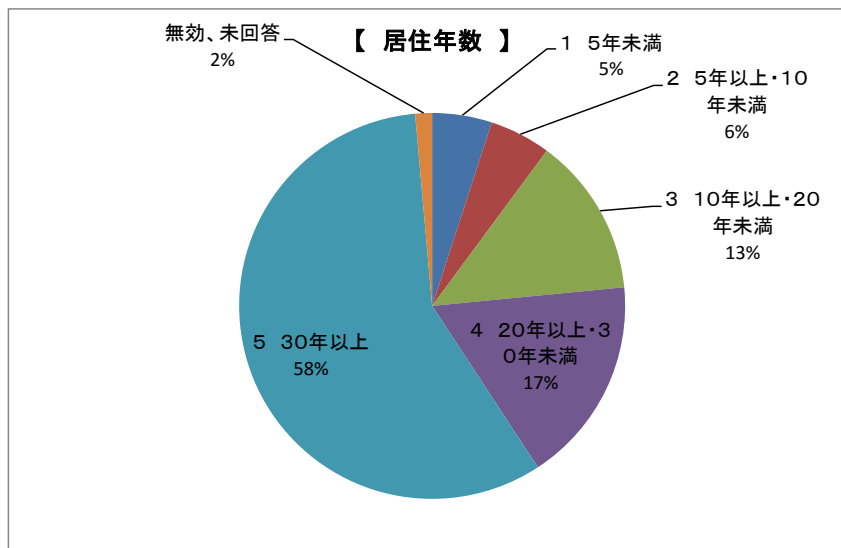
【職業】

	回答数	割合
正規の従業員・職員	205	26.3%
非正規の従業員・職員、アルバイト	132	16.9%
経営者・役員(従業員5人以上)	9	1.2%
経営者・役員(従業員5人未満)	20	2.6%
家事専業(主婦・主夫)	152	19.5%
大学生・専門学校生	12	1.5%
中学生・高校生	35	4.5%
無職	179	22.9%
その他	29	3.7%
無効、未回答	7	0.9%
合計	780	



【居住年数】

	回答数	割合
1 5年未満	39	5.0%
2 5年以上・10年未満	40	5.1%
3 10年以上・20年未満	104	13.3%
4 20年以上・30年未満	135	17.3%
5 30年以上	451	57.8%
無効、未回答	11	1.4%
合計	780	



平成29年度の市民アンケートの結果 ～その1～

主な広域施設（市民全体で共同利用する施設）の必要数

人口減少とそれに伴う財政規模縮小を踏まえると、施設の統廃合は避けて通れない中で、主な広域施設の必要数について回答していただきました（現状の施設は下記のとおりです）

1 庁舎：本庁舎、大里庁舎、妻沼庁舎、江南庁舎

2 拠点的な公民館等（おおむね2,000㎡以上）

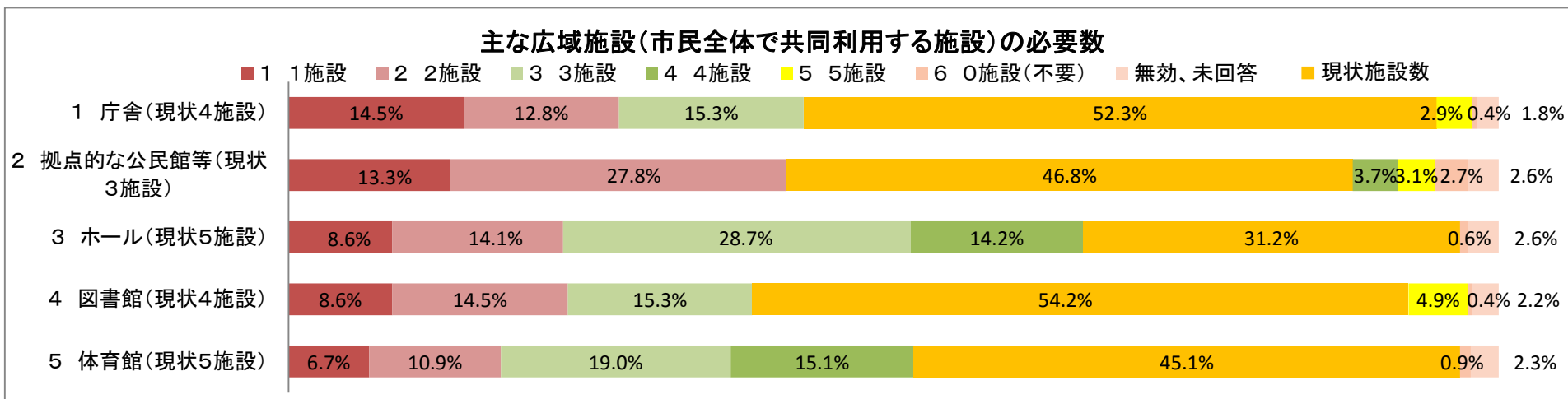
：市民ホール（中央公民館）、妻沼中央公民館、スポーツ・文化村【くまびあ】

3 ホール：妻沼中央公民館ホール、文化センター文化会館、江南総合文化会館【ピピア】ホール、熊谷文化創造館【さくらめいと】、大里生涯学習センター【あすねっと】文化ホール

4 図書館：文化センター熊谷図書館、妻沼図書館、【あすねっと】大里図書館、【ピピア】江南図書館

5 体育館（おおむね2,000㎡以上で学校体育館を除く）

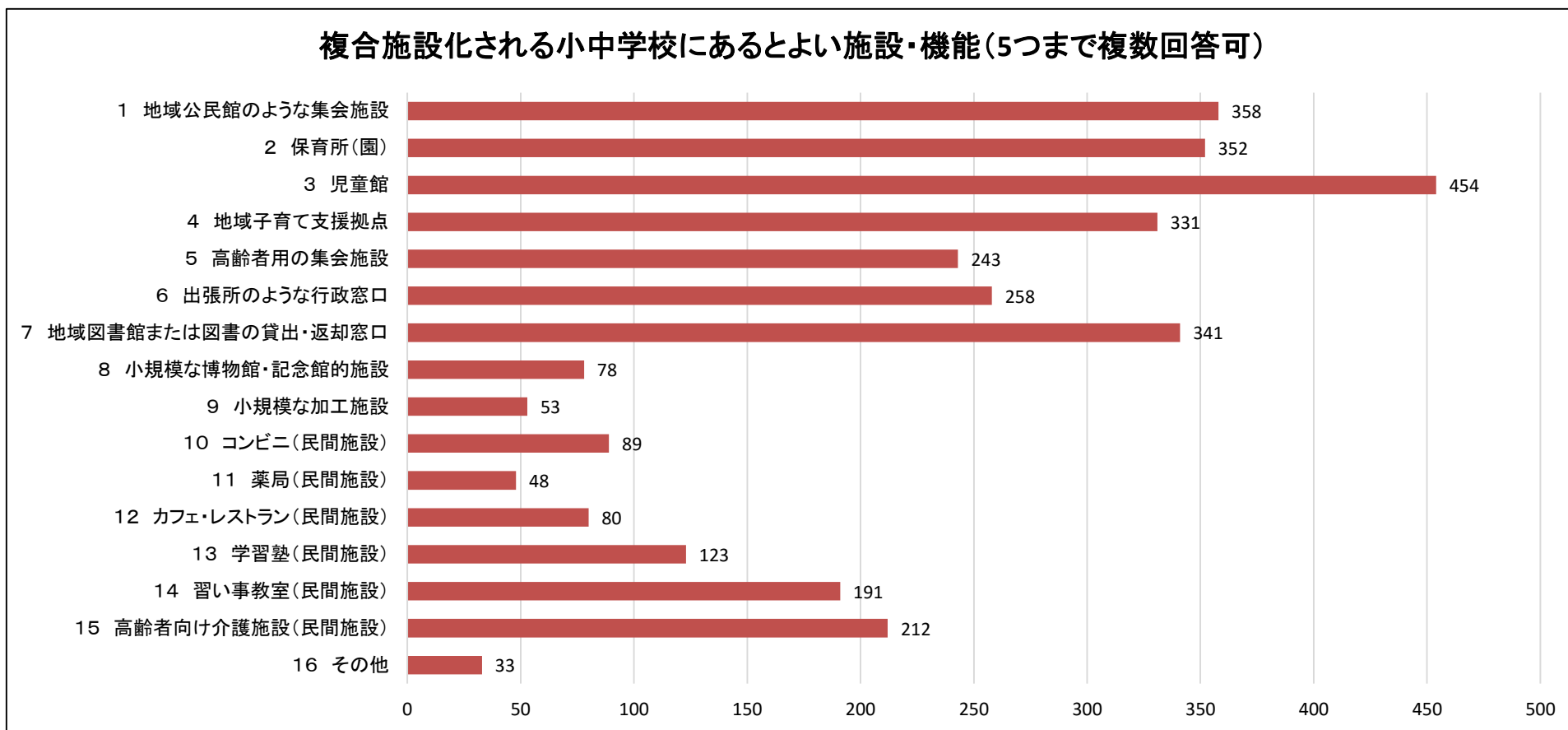
：市民体育館、【くまびあ】体育館、妻沼運動公園体育館、大里体育館、江南体育館



平成29年度の市民アンケートの結果 ～その2～

複合施設化される小中学校にあるとよい施設・機能

統廃合により存続（新設）することとなる小中学校について、複合化・多機能化（学校以外の施設・機能も設けること）としますが、この複合施設化される小中学校にどのような施設・機能があればよいかについて回答していただきました

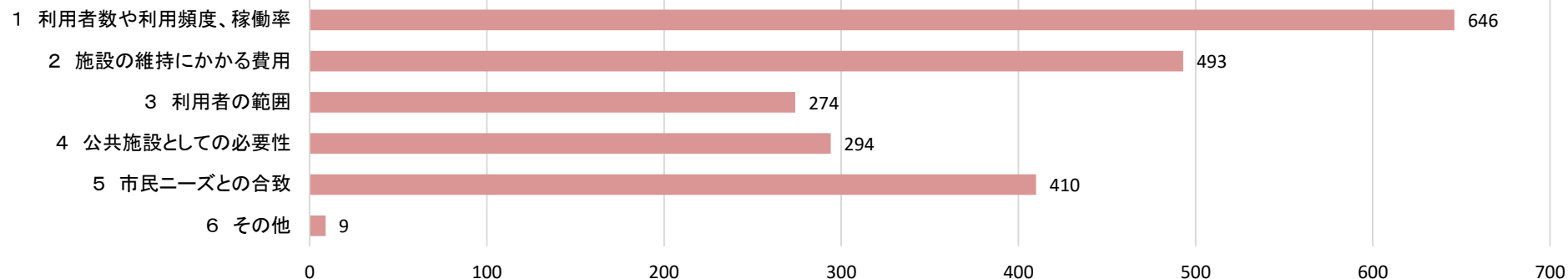


平成29年度の市民アンケートの結果 ～その3～

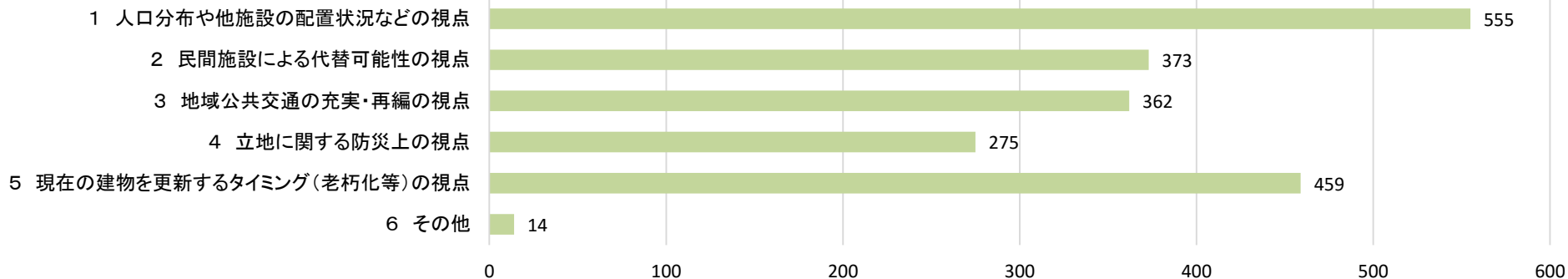
施設の廃止や移転の検討の際に重視すべき点・事情

施設の廃止や移転（統合や再配置を含む）を検討する場合に、重視すべき点・事情について回答していただきました

施設の廃止を検討する場合に重視すべき点・事情



施設の移転(統合や再配置を含む)を検討する場合に重視すべき点・事情



平成29年度の市民アンケートの結果 ～その4～

貸館型施設における施設利用者の負担割合

貸館型の施設（申請をして利用する施設）の利用者が、その施設の運営・更新等にかかるコストについて、どのくらいの割合を負担すべきであるかどうかについて回答していただきました。

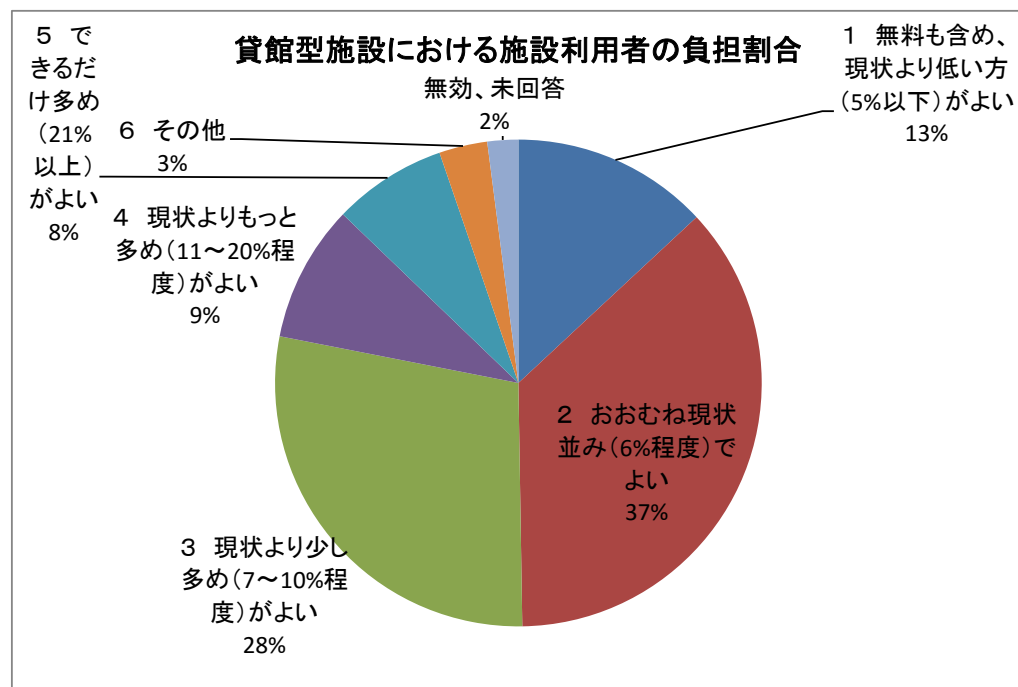
・割合が低いとはどういうこと？

施設にかかるコストは、税金により、施設を利用しない市民を含めた全員で負担するということ

・割合が高いとはどういうこと？

施設にかかるコストは、施設を利用する市民を中心に負担するということ

	回答数	割合
1 無料も含め、現状より低い方(5%以下)がよい	102	13.1%
2 おおむね現状並み(6%程度)でよい	286	36.7%
3 現状より少し多め(7～10%程度)がよい	221	28.3%
4 現状よりもっと多め(11～20%程度)がよい	71	9.1%
5 できるだけ多め(21%以上)がよい	59	7.6%
6 その他	25	3.2%
無効、未回答	16	2.1%
合計	780	



平成29年度市民アンケートから読み取れるものは？

- ✓ 現状の公共施設については、そのまま維持すべきとの要望が一番多いものの、機能の代替の方法を検討すれば施設数を減少することもやむを得ないとの意見も一定程度寄せられていました
- ✓ 小中学校の複合施設化を行う場合には、子育て関係の施設、図書館、集会施設との複合化を望む声が多いが、民間施設等の複合化のニーズも一定程度ありました
- ✓ 施設の廃止の検討の際には、施設の利用・稼働状況や維持費用を重視すべきとの意見が多く寄せられました
- ✓ 施設の移転の検討の場合には、人口分布や配置状況を重視すべきとの意見が多く寄せられました
- ✓ 貸館型施設については、市民全員で負担するよりも施設利用者が多めに負担する方がよいとの意見が多く寄せられました

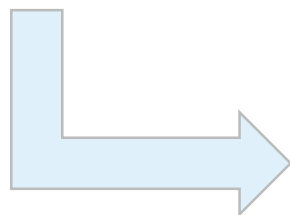
3. 国の動向

国の動向はどうなってるの？

多くの自治体で施設の老朽化が進むなか、国も自治体に対して様々なサポートを行っています。

公共施設等 総合管理計画

…平成27年3月に策定
熊谷市では「熊谷市公共施設アセットマネジメント
基本方針」と呼んでいます。



個別施設計画

…熊谷市では平成31年度
までに策定予定

公共施設等総合管理計画と個別施設計画の両方を策定した自治体は、施設の複合化、長寿命化、集約化などの経費の一部を国が負担してくれます。

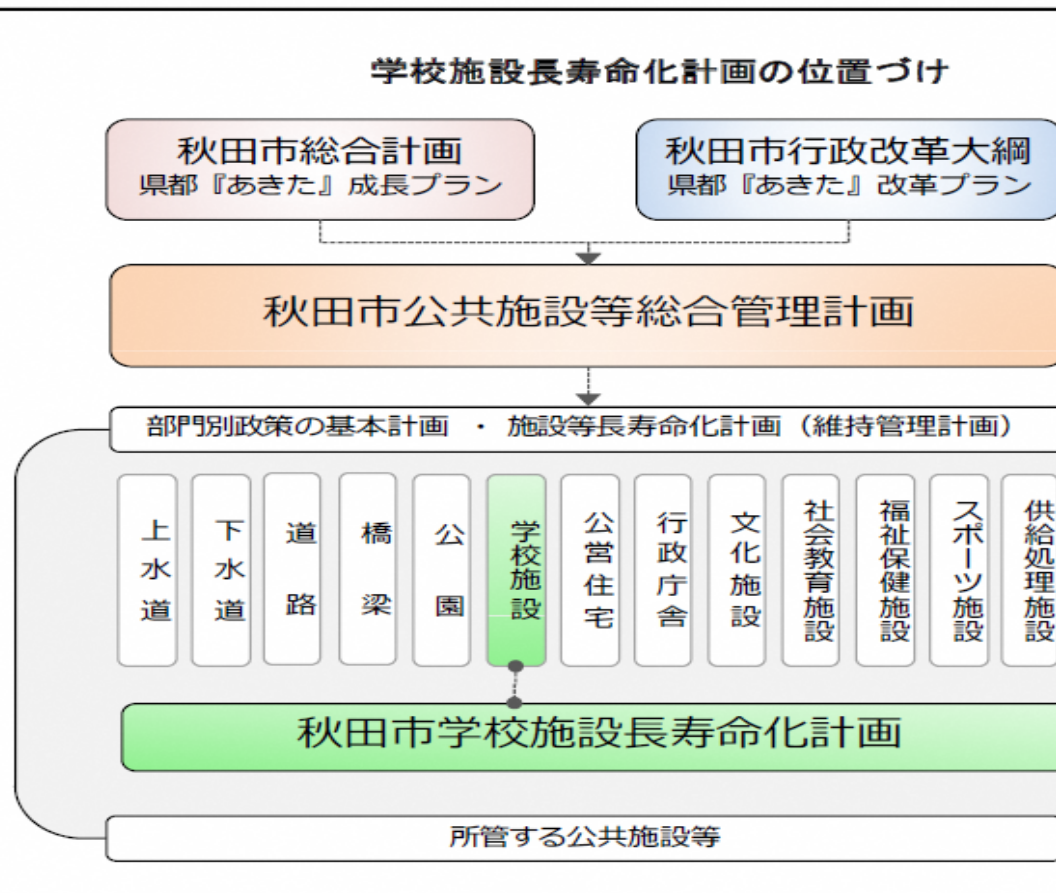
個別施設計画ってどんなもの？～その1～

秋田県秋田市の学校施設における策定事例 ①

(1) 計画策定の位置づけと目的

現在、本市では、公共施設やインフラ全体における整備の基本的な方針として「秋田市公共施設等総合管理計画」の策定を進めており、『学校施設長寿命化計画』は、その個別計画と位置づけられる。

今後、学校施設が一斉に大規模改修や更新期を迎えるため、長寿命化により、トータルコストの縮減や平準化を図り、部位別や学校別の優先順位を考え、平成28年度からの40年間の長期方針と5年間の具体的な整備計画をたてることを目的とする。



出所： 秋田市ホームページ「秋田市学校施設長寿命化計画 概要版」（平成28年）

個別施設計画ってどんなもの？～その2～

秋田県秋田市の学校施設における策定事例 ②

③今後5年間の整備計画											(千円)			
			H28		H29		H30		H31		H32			
			学校名	金額	学校名	金額	学校名	金額	学校名	金額	学校名	金額		
長寿命化改修			旭川小	299,404							四ツ小屋小	195,800		
					仁井田小	202,200						土崎南小	196,000	
					外旭川小	214,600							仁井田小	293,200
					泉中	265,200	泉中	170,500	泉中	316,600				
									明德小	204,800				
									大住小	370,000				
											川尻小	202,400		
											外旭川中	202,000		
計			299,404		682,000		745,300		721,000		685,000			
D評価改修	屋根・屋上	下新城小	34,250	中通小	15,000	土崎小	15,000	豊岩中	15,000	飯島南小	15,000			
		泉小	15,000	築山小	15,000	旭南小	15,000	岩見三内中	25,000	勝平中	15,000			
	外壁	八橋小	25,000	東小	25,000	河辺小	25,000	港北小	25,000	東小	25,000			
		旭南小	15,562	泉小	25,000	大住小	25,000	外旭川小	25,000	泉小	25,000			
		港北小	23,290	明德小	25,000	日新小	25,000	下新城小	25,000	大住小	25,000			
		外旭川小	23,528	城東中	25,000	金沢西小	25,000	将軍野中	25,000	河辺中	25,000			

出所： 秋田市ホームページ「秋田市学校施設長寿命化計画 概要版」（平成28年）

4. 今後の熊谷市の取り組み

熊谷市のスケジュール

本日 (2018.3.25)

項目 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
熊谷市アセットマネジメント 基本方針	→					
熊谷市アセットマネジメント 基本計画		→				
熊谷市アセットマネジメント 個別施設計画				→		

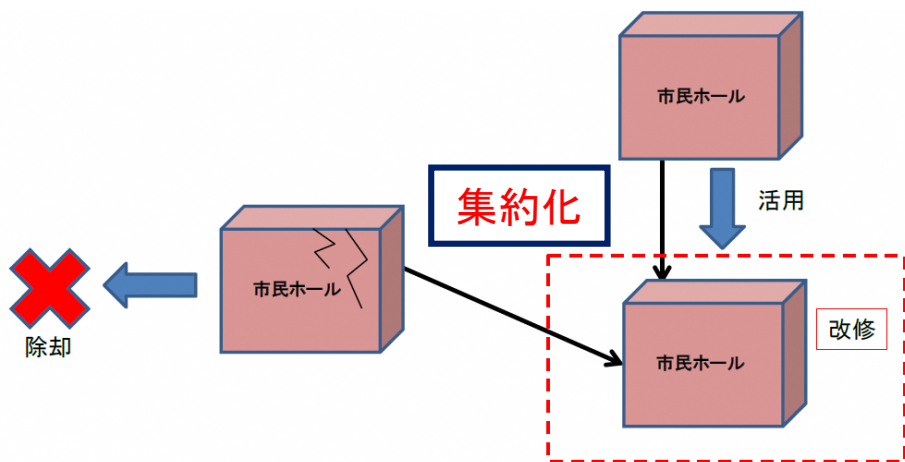
これまでに策定した基本方針及び基本計画の内容を踏まえて、「熊谷市アセットマネジメント個別施設計画」を平成31年度末までに策定する予定です。

公共施設の再編とは？

集約化とは

集約化とは、機能が類似している複数の施設を1つの施設に集約する再編をいいます。

【市民ホールの集約化の例】



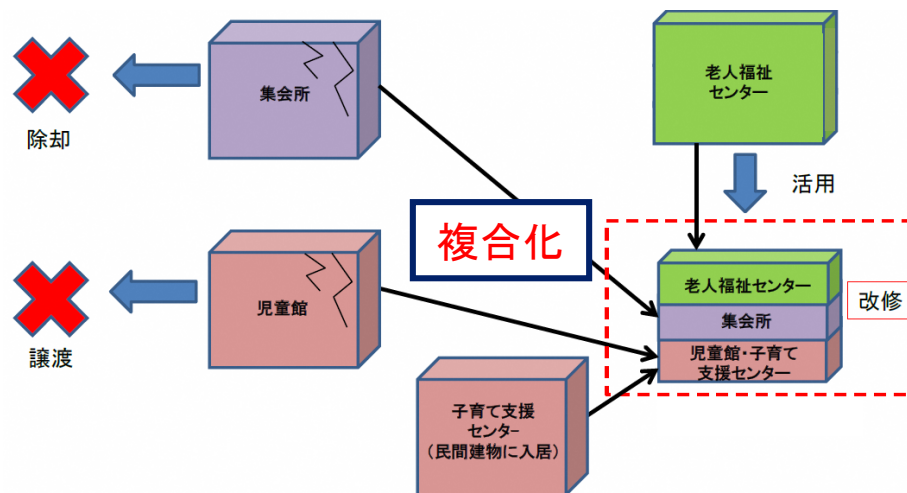
【集約化の効果】

- ✓ 資産の効率利用が図られる
- ✓ 施設総量が縮減されコスト削減につながる

複合化とは

複合化とは、市内に点在する複数の施設の機能を1つの施設に集約する再編をいいます。

【社会福祉施設と子育て支援施設の複合化の例】

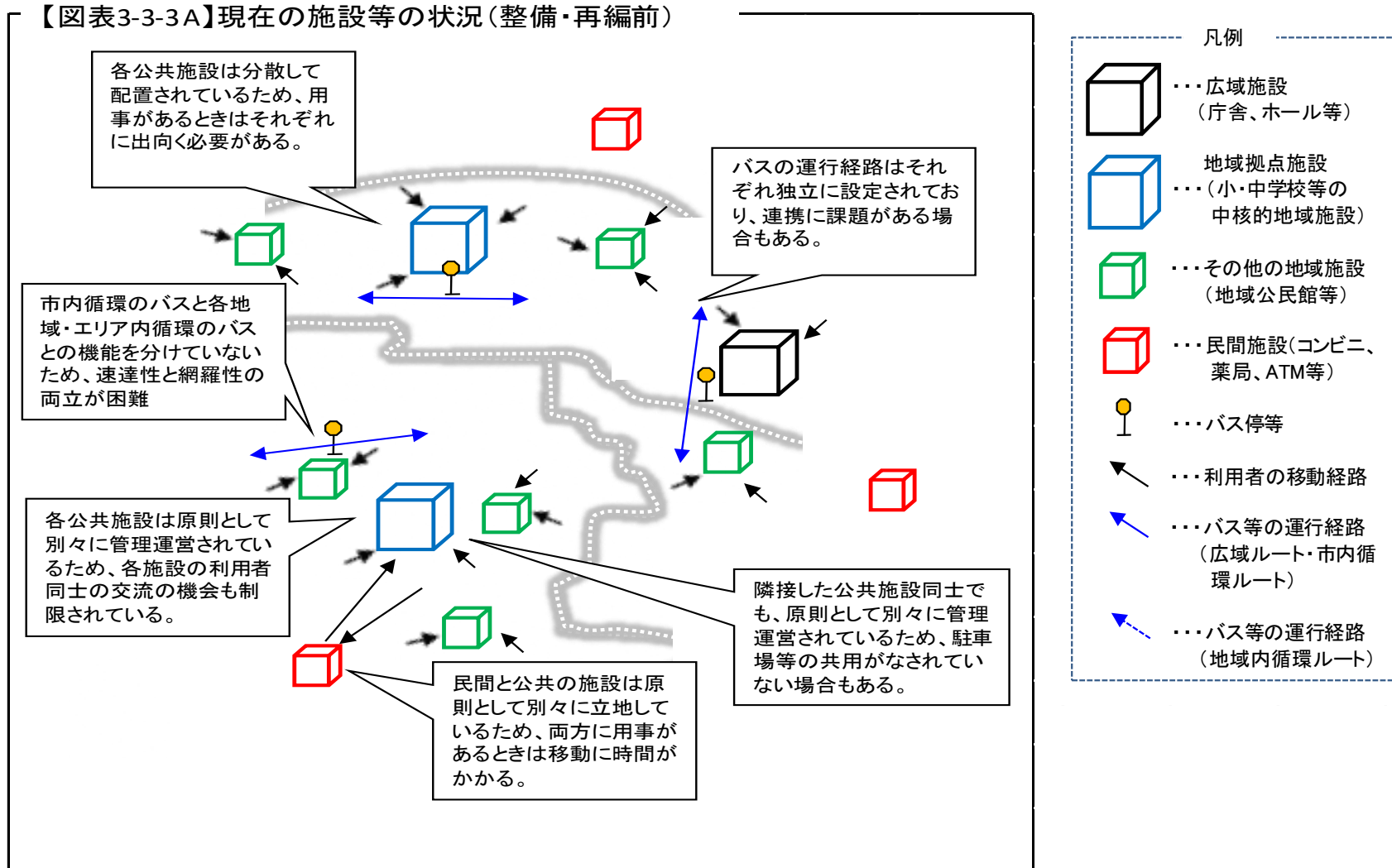


【複合化の効果】

- ✓ 世代間交流などの地域交流が図られる
- ✓ 施設総量が縮減されコスト削減につながる

熊谷市の考える公共施設の再編イメージ～その1～

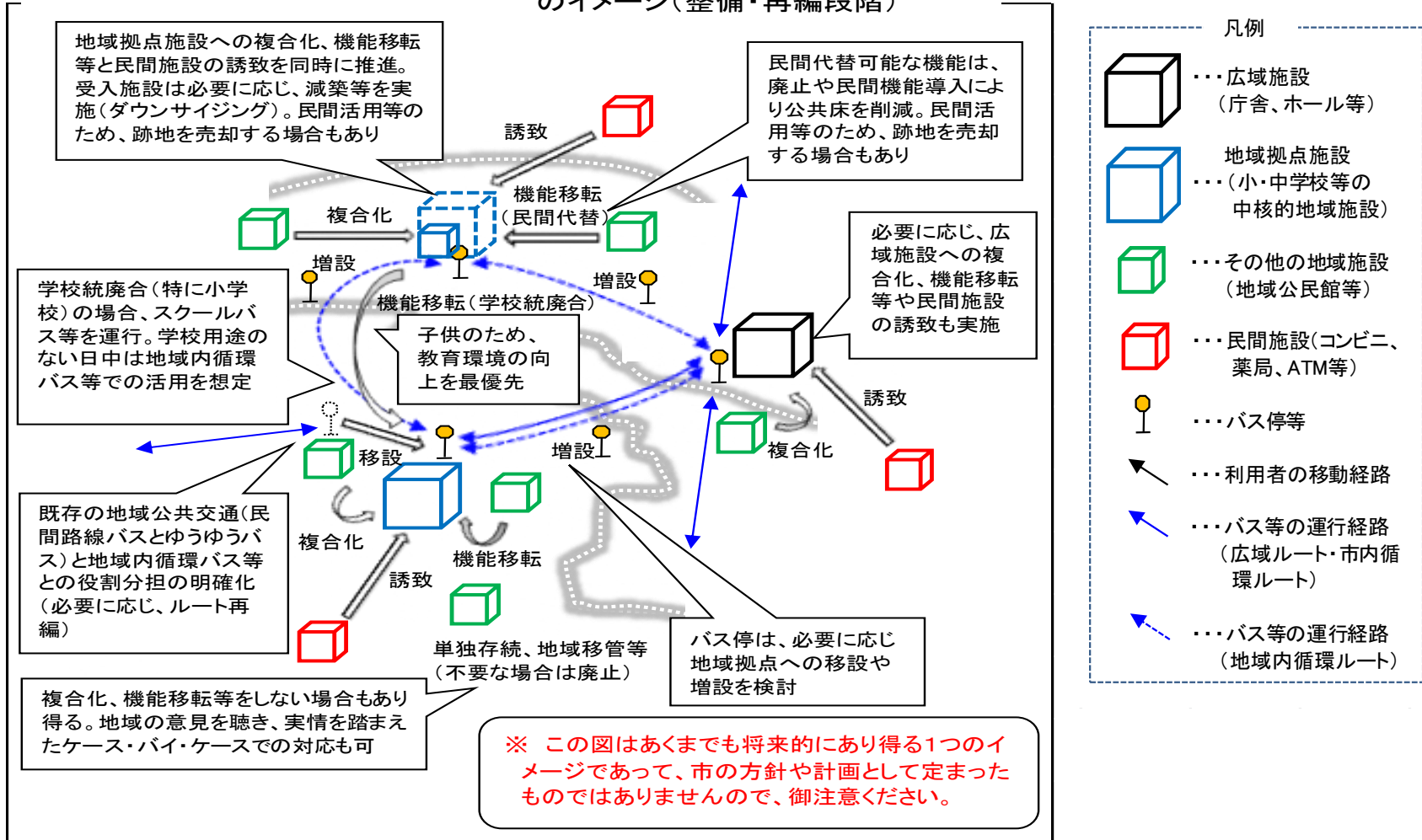
現在の施設等の状況（整備・再編前）



熊谷市の考える公共施設の再編イメージ～その2～

施設の整理統合・地域公共交通再編のイメージ（整備・再編段階）

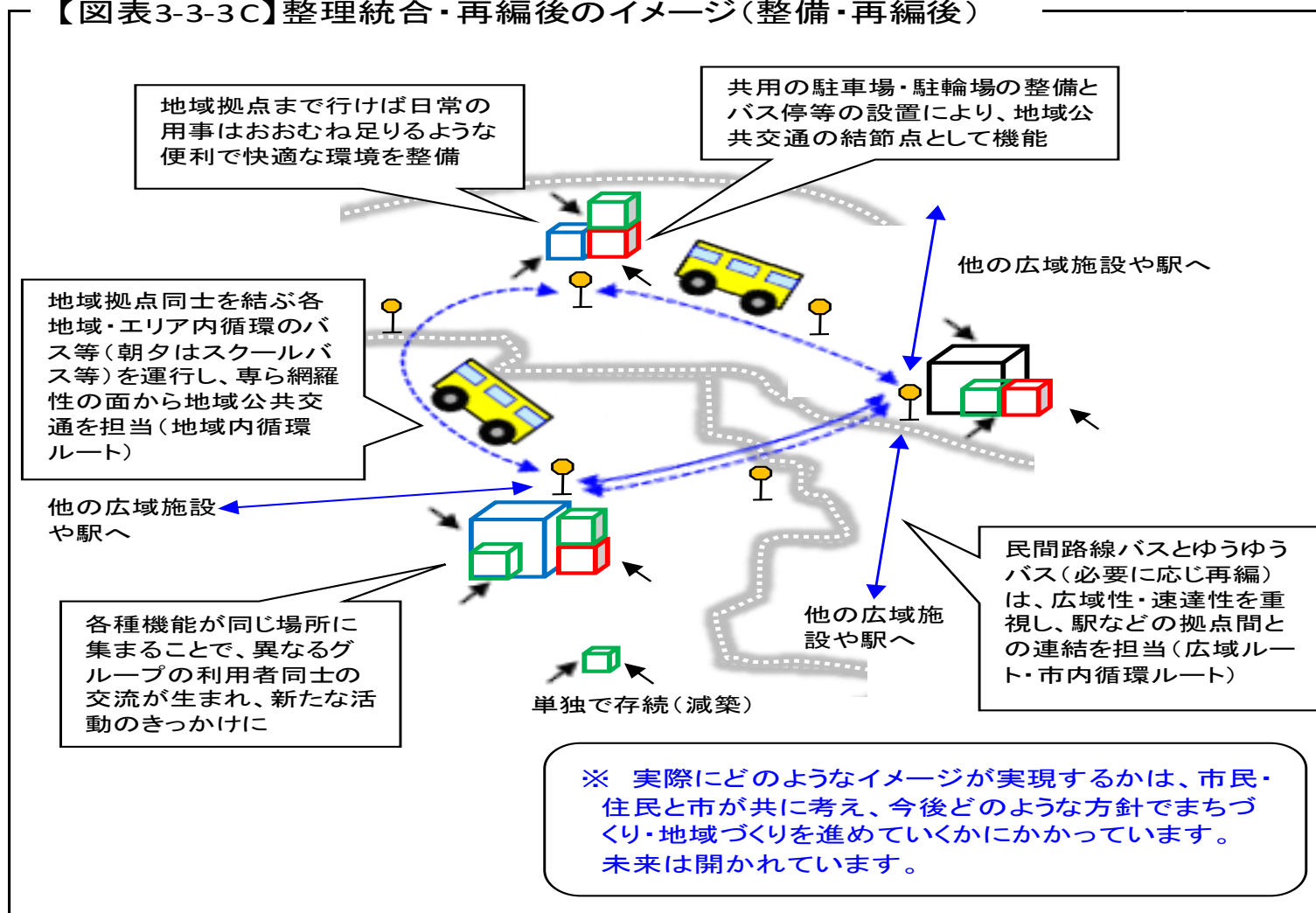
【図表3-3-3B】施設の整理統合・地域公共交通再編のイメージ（整備・再編段階）



熊谷市の考える公共施設の再編イメージ～その3～

整理統合・再編後のイメージ（整備・再編後）

【図表3-3-3C】整理統合・再編後のイメージ（整備・再編後）

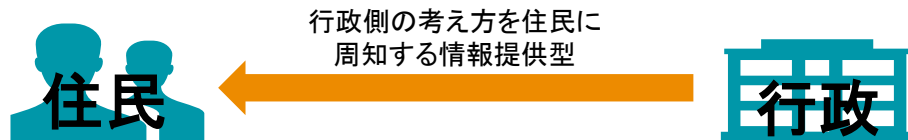


熊谷市の「公共施設アセットマネジメント」に関する取組の特徴

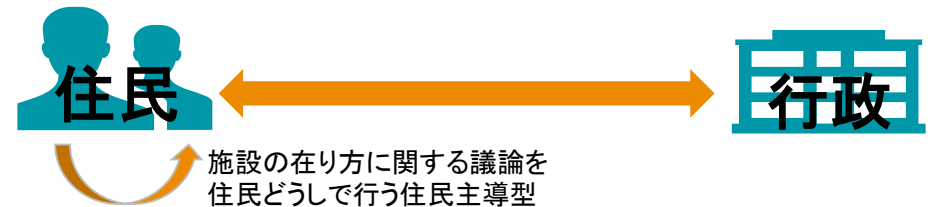
- ✓ 全庁的、横断的な検討組織を立ち上げ、全市をあげて「公共施設アセットマネジメント」に取り組んでいきます
- ✓ 5つの地区（北部エリア、西部エリア、中央エリア、東部エリア、南部エリア）に分けて検討することで、市内の地域性に考慮した「公共施設アセットマネジメント」に取り組んでいきます
- ✓ 市民説明会やワークショップなど市民とともに「公共施設アセットマネジメント」に取り組んでいきます

市民説明会とは？ ワークショップとは？

市民説明会のイメージ



ワークショップのイメージ



活気があって将来も安心して暮らせる熊谷市をみんなで作っていきましょう！

こども未来センター（東京都立川市）



オガールプラザ（岩手県紫波町）

